

分科会3 町の中の里山 さとランド

～さとランドで考える半農半X的ライフ～



分科会メンバー

講 師:3名
参加者:12名



「さとランド」とは？

- ・「さとランドあぜ道倶楽部」
- ・三ない：会費、会則、名刺
- ・ネットワークを活かした活動
～竹部隊、木工、薬草会、狩猟、
- ・メンバー：いつまでも遊び心を忘れない団塊世代15名ほど

分科会の内容：里山での塩作り

- ・竹を燃やすための「塩作り」
- ・ロケーション：海と里と山が近い
- ・材料が豊富
～竹・海





さとランドの竹林



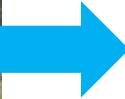
竹の活用



里のめぐみ



さとランド Before After





さとランド的 半農半X

- ・仲間で楽しむ半農半X
- ・半X=人とのつながり、
ネットワーク

新しい展開

●調理学校の現場実習

- ・年1回、30名程度の受入れ
- ・イノシシの丸焼き、ピザなど
- ・地産地消とは何か？地域とつながるとは何か？

●音楽会

- ・オカリナ、キーボード、ケーナなど
- ・6月ホタルの時期、80人

さとランドの未来の可能性

●竹林の整備 & イノシシの駆除

- ・メンバーの増加、若返り

●若者に自給的な農業を教える

- ・耕作放棄地→畠の再生→植付け→手入れ→収穫

●広報

- ・さとランドの活動をより多くの人に知ってもらう工夫

●子どもが集える場所

- ・生きもの観察:ビオトープ、カスミサンショウウオ
- ・星空観察

半農半X的未来の可能性

●イノシシ対策

- ・柵、ワナ、駆除、狩猟…半農半狩猟

●生活＝お金？

- ・お金のやり取りをしない豊かさ

●勝ち組→「価値」組になろう！

- ・自分で価値を作り出す活動